

## 「母子免疫 RS ウィルスワクチン」接種費用の補助開始 ～県中部初の手厚い助成～

焼津市では、出生早期の乳児を「RS ウィルス感染症」から守るため、妊婦に対して行う「母子免疫 RS ウィルスワクチン」接種費用について、令和8年1月1日以降の接種分から一部助成を行います。

助成は県中部では初（県内では袋井市に続き2番目）となります。

手厚い助成で乳児の健康を守ります。

**対象** 接種日当日に妊娠24週0日から36週6日の市民

**助成額** 15,000円

※接種費用約3万円の内、半額を市が負担します。

※生活保護世帯は全額助成

**接種回数** 1回の妊娠につき1回

**助成開始時期**

令和8年1月1日以降の接種分から

**助成方法**

▶焼津・藤枝市内の分娩を取り扱う指定医療機関で受ける場合

医療機関の窓口で申請書を記入し助成費用の差額を支払う。

▶その他の医療機関で受ける場合

接種後に医療機関で全額支払い、後日健康づくり課の窓口で償還払いの申請をする。



### 【参考】RS ウィルス感染症とは

RS ウィルスの感染による呼吸器の感染症です。

2歳までに、ほぼ100%の子ども達が感染し、特に生後6ヶ月未満で感染すると重症化しやすいと言われています。

妊娠中に接種することで、胎盤を通して赤ちゃんに抗体が移行し、生後6ヶ月間の最もリスクの高い時期にRS ウィルス感染症の感染と重症化を予防することができます。

**問合先**

焼津市健康福祉部 健康づくり課 母子保健担当 塩谷・島村

TEL054-627-4111 FAX054-627-9960